

地球温暖化対策地域協議会だより

- 第13回ふなばし環境フェアへ参加 ……P1
- ふなばし三番瀬クリーンアップへ参加……P2
- 緑のカーテンコンクール表彰式 & ……P2～5
環境講演会
- 協議会でアクションプランを制定……P5～6
- 協議会のホームページを開設……P6

発行

船橋市地球温暖化対策地域協議会

【事務局】

船橋市環境部環境保全課地球温暖化対策推進室

〒273-8501 船橋市湊町2-10-25

tel 047-436-2465 fax 047-436-2487

E-mail ondanka@city.funabashi.chiba.jp

第13回ふなばし環境フェアに参加しました

平成22年6月5日(土)に船橋市中央公民館で開催された「第13回ふなばし環境フェア」に地域協議会として参加し、パネル展示による様々な活動の紹介や手製の人力発電機を使用した体験などを通して来場者へのPRを行いました。



開会の挨拶をする藤代市長



短冊に思いを込めて！



人力発電機で発電を体験しました



実験コーナーで電気の不思議体験をしました

ふなばし三番瀬クリーンアップに参加しました

平成22年10月24日(日)にふなばし三番瀬海浜公園で開催された「ふなばし三番瀬クリーンアップ」に地域協議会として参加し、パネル展示による活動の紹介で来場者へのPRを行うと共に、ゴミ拾いで一緒にいい汗をかきました。



開会式で挨拶する林環境部長



大勢の方々が集まりました



みんな一生懸命ゴミ拾いです！



協議会の活動をパネル展示で紹介しました

「緑のカーテンコンクール表彰式」と「環境講演会」を開催

船橋市ではアクションプランにも掲げた「緑のカーテンコンクール」を今年も開催し、11月27日(土)に船橋市中央公民館で優秀な作品に対する表彰式を行いました。

また、表彰式に引き続き「南極から見た地球環境」のタイトルで、2003年11月～2005年3月での第45次南極観測越冬隊や2009年11月～2010年3月での第51次観測隊で南極を再訪するなど、女性として初めて観測隊に同行した朝日新聞東京本社科学医療グループ記者の中山由美さんを講師にお招きし、「環境講演会」を開催しました。

以下に表彰式および講演会の様子をご紹介します。

○ 「緑のカーテンコンクール」表彰式



司会進行の吉川奈美さん(東京電力)



市長賞の授与



みそら保育園の園児たち「元気いっぱい！」



喜びの受賞者の皆さん

【市長賞】 個人の部 夏見3丁目 有松 祝(ありまつ しゆく)様
事業所・公共施設の部 千葉県立船橋豊富高校 様



有松 祝さんの作品



船橋豊富高校の作品

【緑の基金賞】 個人の部 三咲6丁目 衣川佐知子(きぬがわ さちこ)様
事業者・公共施設の部 松が丘児童ホーム 様



松が丘児童ホームの作品



衣川佐知子さんの作品

【船橋市地球温暖化対策地域協議会賞】 芝山4丁目 藤本 シズ(ふじもと しず)様



藤本シズさんの作品

【特別賞】 個人の部 白根紀奈(しらね きな)様
佐野幸康(さの ゆきやす)様
菅野友美(かんの ともみ)様

事業者・公共施設の部
社会福祉法人南生会 みそら保育園 様
海神公民館 様
船橋市立夏見第二保育園 様

【省エネルギー賞】 石川太一(いしかわ たいち)様
荒川諒介(あらかわ りょうすけ)様
田丸幸三(たまる こうぞう)様
山崎靖子(やまざき やすこ)様
大久保忠男(おおくぼ ただお)様

○ 環境講演会「南極から見た地球環境」

講師：朝日新聞東京本社科学医療グループ記者の中山由美さん

観測隊同行時に体験した極地での自然の厳しさや神秘的な自然現象などを映像を交えてお話いただき、見応え・聞き応えのある内容となりました。また、第51次観測隊の隊長が船橋市在住ということで、会場にサプライズで来場すると共に、他の同行メンバーも駆けつけるなど、以前に船橋市に在住経験のある中山さんにとって、大変印象深い講演会になったようです。



中山由美さん



観測隊見学？のペンギン



多くの来場者



サプライズ登場の観測隊長

協議会でアクションプランを制定しました！

「船橋市地球温暖化対策地域推進計画」の目標達成に向かって、重点的に市民や事業者が自ら取り組むべき活動とその取り組みを促進するために「低炭素都市をめざして」をテーマに、アクションプランを制定しました。大きく分けて「市民編」と「事業者編」となりますが、今後はより多くの市民や事業者に取り組んでいただけるように、PRをはかっていくことが重要です。

【ふな・エコライフチェック 市民編】

環境にやさしい生活の推進(18のアクションの実行)

- ① 冷房の温度を28℃、暖房の温度を20℃に設定する。
クールビズ、ウオームビズを活用して温度設定する。1℃変更することによりCO₂が年間33kg減らせる。
- ② 待機電力を50%削減する。
テレビ、エアコン、洗濯機等待機電力を消費する電化製品は、コンセントからははずす。これによりCO₂が年間24kg減らせる。
- ③ シャワーを1日1分家族全員が減らすなど節水に心がける。
1人で1分間節水するとCO₂が年間28kg減らせる。
- ④ 風呂の残り湯を洗濯に使いまわす。
4人家族の洗濯物の洗い水だけを風呂の残り湯に使うとCO₂が年間7kg減らせる。
- ⑤ 炊飯器等の保温を止める。
炊飯器、電気ポット等の保温をやめるとCO₂が年間34kg減らせる。
- ⑥ 家族が同じ部屋で団らんし、冷暖房と照明の利用を2割減らす。
家族が個人個人で時間を過ごすより、家族団らんで過ごすで冷暖房と照明の利用が2割減らせCO₂が年間238kg減らせる。

- ⑦ テレビ番組を選び、1日1時間テレビ利用を減らす。
1日1時間テレビ利用を減らすとCO2が年間4.7kg減らせる。
- ⑧ 外出はバス、電車や自転車等環境に優しい交通機関を利用する。
- ⑨ マイバッグを推進する。
買い物時にマイバッグを持参し、レジ袋を使わないよう努力する。
- ⑩ 省包装製品を選択する。
- ⑪ マイボトルを持ち歩く。
- ⑫ 環境家計簿(エコノート)を実践する。
環境家計簿(エコノート)を環境学習の場等での配布及びHPによる配信をすることにより、市民が環境家計簿に親しみやすい環境を作る。
- ⑬ エコクッキングを実践する。
食材を全部使い切り、火を上手に使い、適量を作り食べ残しをしない。
- ⑭ 緑のカーテンを実践する。
ゴーヤの苗等を、冷房の節約、食育、CO2吸収に役立てながら育てる。
- ⑮ エコドライブを実践する。
アイドリングストップ
急発進・急加速をしない(ふんわりアクセル)
早めのアクセルオフ
エアコンの使用を控える
タイヤの空気圧
不要な荷物を載せない
定期的に点検整備をする
- ⑯ エコ住宅を検討する。
太陽光発電、高効率給湯器、太陽熱利用、二重サッシ等エコ住宅を検討する。
- ⑰ 省エネ家電を選択する。
家電の買換えを検討するときは、省エネ製品を選択するように努める。
白熱電球から蛍光電球・LED電球への切り替えを促進する。
- ⑱ 農産物等の地産地消を心掛ける。
市内で生産している商品を主に活用して行く。

【3つのアクションの実行 事業者編】

挑戦しようエコ・カンパニー！

環境に配慮した事業活動の推進(3つのアクションの実行)

- ① 自主行動計画を策定する。
環境に配慮した事業活動を実施していくために自主行動計画の策定を進めていく。
自主行動計画は、下記業種ごとの取り組みを参考に、その活動の大小に関わらず策定を進める。
- ② ISO14001又は、エコアクション21を取得する。
- ③ 省エネ診断を実施する。

協議会のホームページを開設しました

協議会のアクションプランにもありました「ホームページの開設」が、12月1日から一般公開されました。一般市民へのアピールの場や会員同士の情報提供・交換などに有効なツールとして期待されます。

<http://www.funabashi-ondanka.jp/index.html>

【掲載項目】

- ① 協議会の概要
- ② 活動内容
- ③ 地球温暖化
- ④ みんなでアクション
- ⑤ 協議会ニュース
- ⑥ ふなエコの場(会員専用)
- ⑦ リンク

【編集後記】

「NO.1」の発行から1年近く経っての発行となつてしまいました(汗)
協議会ホームページも開設されましたので、積極的な活用をはかっていきたいと思っております。
皆様からの情報もお待ちしております。

(M.M)